

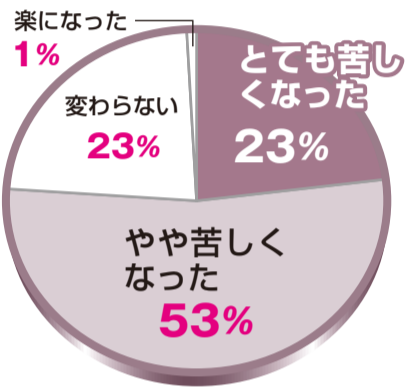
# 消費税8%への増税で生活が「苦しくなった」が76%

## 日本共産党川崎市議団のアンケートで市民生活への影響が明らかに

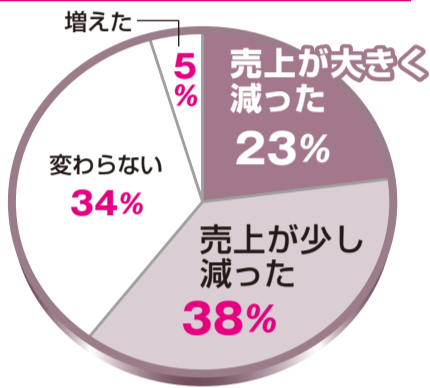
日本共産党川崎市議団が取り組んできた「市民生活に関するアンケート」に5,200通近い回答(12月中旬時点)が寄せられ、貴重なご意見をたくさんいただきました。とくに消費税8%への増税で苦しくなった生活実態が明らかに。3党合意で増税を強行した自・公・民の責任は重大です。10%への増税は「先送り実施」でなく、きっぱり中止すべきです。アンケート結果は以下の通りです。

**回答数約5,200通**  
ご協力ありがとうございました

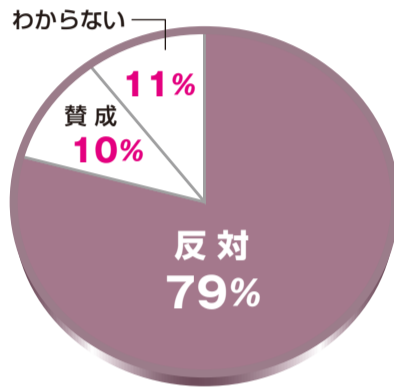
消費税率8%に増税されましたが、増税前より生活は？



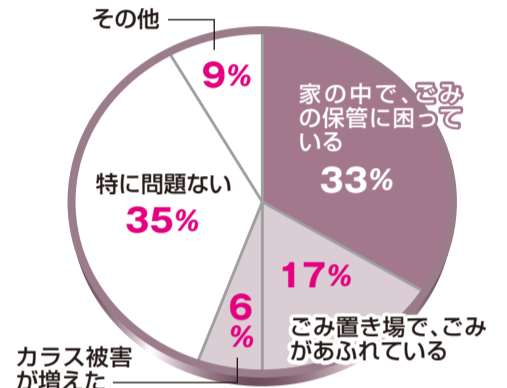
商店・飲食店・中小企業で働いている方は、消費税8%への増税で、以前より売上は？



消費税率が10%に上げられることについて



普通ごみ収集が週3回から2回になった後の影響について



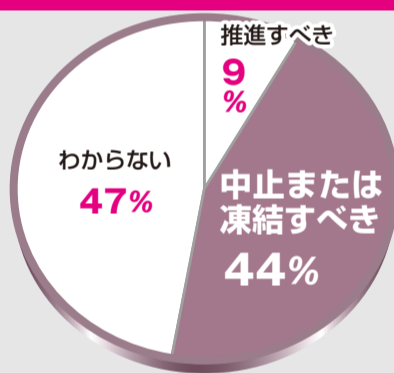
市が実施をめざす中学校給食で、やってほしいことは？

温かい給食を提供する	21%
地産地消、地元食材の活用	20%
小学校のような自校調理方式の導入	15%
食物アレルギーへの対応	15%
食についての教育(食育)	14%
栄養士の各校配置	12%
大規模なセンターからの配送方式	3%

高齢者施策で、優先的に取り組んでほしいことは？

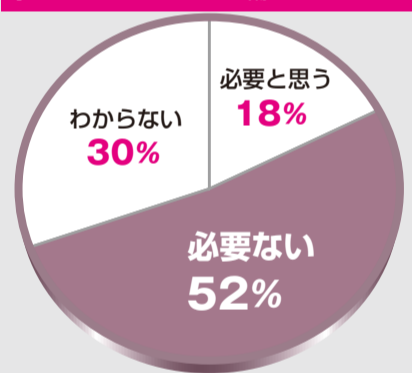
介護保険料の引き下げ、利用料の減免拡充	34%
特別養護老人ホームの増設	26%
医療費窓口負担の軽減	17%
後期高齢者医療制度の廃止	11%
介護援助手当の復活	8%
その他	4%

臨港道路東扇島水江町線の整備(石油コンビナート地帯で島の大半が津波浸水予測地域である水江町と東扇島を結ぶ橋=事業費540億円)を市が進めていることは？



「2つの巨大な橋」整備について

羽田空港と川崎区殿町を結ぶ羽田連絡道路(事業費見込額400億円)を2020年東京オリンピックまでに整備することは？



## 市民アンケート結果と民意を生かす「5つの要望」を市長あてに提出しました

日本共産党川崎市議団は12月19日、今回の市民アンケート結果と、市民の生の声、民意を生かす「5つの要望」(下記)を福田市長あてに提出。砂田慎治副市長が受け取りました。

- 1 消費税増税の公共料金への転嫁やめ軽減策を税率10%への増税中止を市長が国に要請を
- 2 普通ごみ収集削減(週3回→2回)による公衆衛生への影響調査と対策の検討を
- 3 中学校給食は市民・保護者の意見をよく聞き、安全・安心のよりよい給食を
- 4 介護保険料の引き下げ、サービス利用料の軽減、用地を確保して特養ホーム緊急増設を
- 5 川崎臨海部の「2つの橋」(臨港道路東扇島水江町線、羽田連絡道路)整備計画は中止を



市民アンケート結果と「5つの要望」を砂田慎治副市長に提出する共産党市議団(2014年12月19日)

寄せられた地域要望の実現へ地元共産党市議団が取り組み

アンケートで寄せられた、交通問題や通学路の危険箇所、地域の改善要望などは、各区選出の地元議員らが現場を調査し、区長に要望書を提出して対応を求めるなど行動しています。